

日本福祉用具供給協会の冊子のご紹介です。

福祉用具を様々な観点から解説した冊子です。
イラストも多く、わかりやすいと評判です。
福祉用具事業所、介護事業所、施設、行政機関などでの研修や勉強会を行う際にぜひご活用ください。



福祉用具専門相談員が
知っておきたい
自助具による生活支援

新刊

申込 **1** 番号 ●A4サイズ
●24ページ

生活行為（日常生活動作・手段的日常生活動作）の特徴と各行為における自助具の適応のポイント、市販されている代表的な自助具について解説しています。

執筆 渡邊 慎一（わたなべ けんいち）氏

- 横浜市総合リハビリテーションセンター 副センター長
- 元・厚生労働省老健局振興課 福祉機器・住宅改修指導官



申込 **2** 番号 ●A4サイズ ●24ページ

福祉用具専門相談員が自助具を選定するために、用具を操作する手の機能を紹介するとともに、自助具を適用するための視点や疾患別の適用例について解説しています。



申込 **3** 番号 ●A4サイズ ●28ページ

介護保険の基本理念である自立支援の考え方を始めとして、これに沿った福祉用具サービスの計画書の目標設定や多職種連携、福祉用具の選定の考え方などを解説しています。



申込 **4** 番号 ●A4サイズ ●28ページ

歩行が困難になりつつある者に対して適切な用具が提供できるよう、歩行や歩行補助具に関する基礎知識に始まり、屋内・屋外それぞれにおける確認ポイントを解説しています。



申込 **5** 番号 ●A4サイズ ●36ページ

福祉用具サービスの提供で最も重要なことは利用者の希望、心身の状況及びその置かれている環境を踏まえることであり、その分析に有効な評価スケールを紹介し解説しています。



申込 **6** 番号 ●A4サイズ ●28ページ

ICFの分類に基づいて、福祉用具サービス計画作成に必要な「生活機能（活動と参加）」の評価の視点について具体的事例を示し、サービスの目的と結果を明確に解説しています。



申込 **7** 番号 ●A4サイズ ●24ページ

ICF（国際生活機能分類）は、今後一層進む多職種連携の共通言語になろうとしています。本冊子ではICFの概念と構成要素に基づいた福祉用具サービスのあり方を解説します。



申込 **8** 番号 ●A4サイズ ●24ページ

介護予防に必要な自立支援の視点から「移動支援用具」、日常生活動作の中でも難易度の高い入浴を支援する「入浴支援用具」について、福祉用具の選定や導入の際の留意点について解説します。



申込 **9** 番号 ●A4サイズ ●22ページ

高齢者に多い骨関節系の疾患の特性とともに福祉用具サービスに立案するときの留意点について解説します。



申込 **10** 番号 ●A4サイズ ●28ページ

高齢者が要介護状態になる原因で多くを占める脳血管障害について解説し、適切な福祉用具サービス計画や介護支援計画立案についてわかりやすく解説しています。



申込 **11** 番号 ●A4サイズ ●28ページ

各疾患の障害像と援助のポイントとともに、福祉用具の利用目標（自立支援、介護負担の軽減）を生活動作ごとに解説しました。



申込 **12** 番号 ●A4サイズ ●20ページ

適切な福祉用具を選定するために、身体状況、介護状況、住環境、福祉用具別に検討すべき内容（情報）を示し、その内容の意義を解説しています。



申込 **13** 番号 ●A4サイズ ●20ページ

利用者の状態像に応じた、移動支援用具の交換や追加のタイミングについて、わかりやすく纏めた小冊子となります。

